2023年11月5日 召天者追悼記念礼拝説教

振り返って

(申命記10・12~22)

一、聖書を読むとは

これは、個人差があると思います。人に るほうです。 よってはあまり気にならないかも知れ ません。私はどちらかといえば、気にな ての場所に連れて行かれたとしたら一 -誘拐されたという意味ではありませ 皆さまがもし、だれかによって初め ―、 どんなことを思うでしょうか。

ザックリで構いませんので、掴みます たテキストがどのような箇所なのかを、 聖書の場合に、「申命記10章12節より えてまいります。 と、それまでに見えなかったものも見 くことはできないわけです。指定され ますので、申命記全体の中で読んで行 が、前後関係が分からない状態で読み なりに教えられることはできるのです せんと、もちろん読むことはでき、それ ろなのだろうか」とまったく分かりま 22節」と指定され、「ここはどんなとこ 聖書を読む時も同じです。特に旧約

二、振り返って

今、 あなたの神、 主が、 あなたに求めて **おられることは何か。〉**とあります。こ 12節をご覧ください。ヘイスラエルよ。

> した。 申命記1章3節に書かれています。こ ジプトを出てから第四十年第十一の月 のテキストは、いつどこで、だれがだれ の時モーセは、百二十歳になっていま か。答えは、語ったのはイスラエルがエ に対して、何を、なぜ語ったのでしょう (現在の一~二月) の一日のことです。

ダン川の東側です。1章5節に書かれ ています。 か。モアブの地です。モアブの地はヨル 次に、場所はどこだったのでしょう

です。だれに語ったのでしょうか。エジ ラエルの次の世代です。 は、だれが語ったのでしょうか。モーセ ブトを脱出してから四十年後の、イス 次に、申命記に記されていることば

います。 間に結ばれた契約を再確認するためで ないために、 す。またイスラエルが、失敗を繰り返さ うか。 主 (ヤハウェ) とイスラエルとの 次に、モーセはなぜ語ったのでしょ 過去を振り返って語って

三、主が求めておられること

に仕え、あなたの幸せのために私が今 くし、いのちを尽くしてあなたの神、主 のすべての道に歩み、主を愛し、心を尽 それは、ただあなたの神、主を恐れ、主 あなたに求めておられることは何か。 〈イスラエルよ。 今、あなたの神、主が では12節、13節を見てまいります。

けです。神は、愛し愛されることを求め 神のかたちに似せて創造された人間だ とでありましょう。それができるのは 尽くして仕えて行こうとするなら、父・ とです。逆らおうと思えば逆らうこと 日あなたに命じる、主の命令と掟を守る ら行われていたものですが、アブラ のことばには、考えさせられます。割礼 である。〉とあります。そして、16節に る民の中から選ばれた。今日のとおり 後の子孫であるあなたがたを、あらゆ です。〈主はただあなたの父祖たちを慕 子・聖霊なる神はどんなにか嬉しいこ 分の意思で、神を愛し、神に誠心誠意を もできるように創造された人間が、自 です。神にお従いするとは、そういうこ 尽くしてあなたの神、主に仕え〉ること ただただ聞いて機械的に従うのではな 隊で部下が上官の命令を聞くように、 の前に従順であることです。それは、軍 語ったのは何だったのでしょうか。 モーセが、新しい世代のイスラエルに ことである。〉とあります。百二十歳の イサクが生まれる前ですが一 は、聖書の舞台となった地域で古くか くする者であってはならない。〉と。こ に割礼を施しなさい。もう、うなじを固 って、彼らを愛された。そのため彼らの て、イスラエルを選ばれました。 15 節 く、〈主を愛し、心を尽くし、いのちを つながります。〈あなたがたは心の包皮 ハ)ムが九十九歳になった時

どうしても形骸化して行きます。そう 感動的な出来事を経験したとしても、 アブラ(ハ)ムに言われました。「あなた だったからである。 〉と。 あなたがたもエジプトの地で寄留の民 しごや、やもめのためにさばきを行い、 えこひいきをせず、賄賂を取らず、みな 主の主、偉大で力があり、恐ろしい神。 節です。〈あなたがたの神、主は神の神、 う方であると語っています。17節、18 ならないためにモーセは、主はこうい と語ったわけです。私たちは、どれだけ じを固くする者であってはならない。〉 の包皮に割礼を施しなさい。もう、うな だからこそモーセは〈あなたがたは心 のは、割礼が形骸化していたことです。 る、モーセが語ったことばから分かる りました。ですが、申命記に記されてい とアブラ(ハ)ムとの契約のしるしにな 中の男子はみな、割礼を受けなさい。_ きわたしの契約である。あなたがたの の子孫との間で、あなたがたが守るべ あなたがたとの間で、またあなたの後 代々にわたって。次のことが、わたしと ない。あなたも、あなたの後の子孫も、 は、わたしの契約を守らなければなら 〈あなたがたは寄留者を愛しなさい。 (創17・9、10)と。以来割礼は、主

ら進んで行う者となります。19節です。 地上にあっては主の御意思を、自分か えられる。>と。ならば、主を知る者は、 寄留者を愛して、これに食物と衣服を与